

「少女たちのお手紙文化 1890-1940 展」

関連イベント報告

【作成】

町田市民文学館
展示担当・広報担当

講演会

「切手デザイナーのおしごと」

レトロかわいい切手のひみつ

2024.01.21 14:00-15:30

オープニングイベントとして開催された本講演会では、切手デザイナーの貝淵純子さんにご登壇いただきました！

貝淵さんが手掛けた切手「ライフ・花竹久夢二の花図案」(2021年)の製作過程を中心に、知られざるおしごと全貌をうかがいました。

竹久夢二は少女雑誌上で人気を博したほか、日本橋の和紙舗・榛原のデザイナーとしても活躍した抒情画家です。展覧会では夢二の手掛けた絵封筒や貝淵さんの所蔵資料も展示しました。

講演の最後にはたくさんの質問が寄せられ、参加者の方の関心の高さがうかがえました。



ワークショップ

「なぞって楽しむ、はじめてのガラスペン教室」

2024.03.02 13:30-15:30

大正期の少女たちがお手紙を書く際に愛用したのがガラスペン。初心者を対象に、ガラスペンのなぞり書きを体験するワークショップを行いました！

講師はペン字クリエイター・越智知美 (Tommy) さん。InstagramやYouTubeで活動されています。今回テキストに使用した『クローヴァー』は、変体仮名が多く使われた大正期のお手紙用文集です。

字の成り立ちやガラスペンの扱い方を基本から学んだあと、先生の実演で筆運びを確認したらいよいよ実践。先生が持参してくださった愛用のインクコレクションから好きなものを選び、なぞり書きを楽しみました。

小学生から大人まで幅広い年齢の方にご参加いただき、和やかなワークショップとなりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

トークショー

「昭和レトロ・紙ものの魅力」

愛でる喜び、あつめる楽しみ

2024.03.17 14:00-15:30

イラストレーター・浅生ハルミンさんと、近代文学研究者で本展アドバイザーの山田俊幸さんの対談形式で行ったトークショー。

紙もの蒐集をメインテーマにお話をうかがう予定でしたが、お話は展覧会の感想から大正・昭和の少女文化に至るまで多岐に及び、お二人の知識の深さがうかがえました。

イベントの中では、ハルミンさんが「人が欲しがらないものを集める」と話す秘蔵の「紙もの」コレクションを、(ほんの一部ですが)ご紹介しました。お二人の紙もの蒐集のコツは、ずばり「手当たり次第に集め、菓子箱で保管」！

町田市の図書館ではお二人の著書も所蔵していますので、ぜひお手にとってみてくださいね！



「少女たちのお手紙文化 1890-1940 展」

～変わらぬ想いは時を超えて～

会期：二〇二四年一月二〇日～三月二四日

主催：町田市民文学館ことばらんど

特別協力：大正イマジユリイ学会、大正・乙女デザイン

研究所、山田俊幸

協力：お茶の水女子大学歴史資料館、株式会社榛原はいばら、群馬県立土屋文明記念文学館